

まちかど未来塾 だより



6月(June)

	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
第1週						
	3	4	5	6	7	8
第2週				親カフェふらっと 10:00~12:00		
	10	11	12	13	14	15
第3週				中1 数学 17:30~19:00		
	17	18	19	20	21	22
第4週		中1 英語 17:30~19:00		中1 数学 17:30~19:00		
	24	25	26	27	28	29
第5週		中1 英語 17:30~19:00	小平4中期末テスト			

中学生の体育祭も終わりました。中1の塾の開始時間を13日(木から)17:30~19:00にします(放課後練習のため、中1のみ塾の時間を少し引き下げて対応していました)



Mirai Letter 76



学校の「当たり前」をやめた

これは先週の日曜日にジュンク堂書店をふらっとしていた時に目に飛び込んできた本のタイトルです。~千代田区立翹町中学校工藤校長の初の著作で、サブタイトルは「宿題は必要ない、クラス担任は廃止、中間/期末テストも廃止」

固定担任制の廃止~と聞くと木村泰子さん(大空小学校元校長)「みんなの学校」を思い出しましたが、千代田区の「翹町中学校」と聞くと、私の時代には地元の生徒はとても少なく学外の越境入学生徒が多かったのです。公立中学としてはかなり「特別」であったように思います。

「学校は何のために在るのか?」それは子どもたちが「社会の中でよりよく生きて行けるようにする」ためにあると工藤校長は言います。そのためには子どもたちは「自ら考え、判断し、決定し、行動する資質」=「自律」する力を身につけさせていく必要があると、

手取り、足取り丁寧に指導し、壁に当たればすぐに手を差し伸べる。けんかが起きれば担任が仲裁に入り、仲直りまで仲介する。そうして手厚く育てられた子どもたちは「自律」の道から遠い存在となり、何か事が上手く進まない「相手が悪い」「こうなったのは社会が悪い」と誰かのせいにして生きていく。

人生は思いもよらない事が次から次へと起きるものです~自分で考え、解決の方向へとアイデアを絞り出していかないと、人生本当に「楽しめない」~社会に出てからのいろいろな事象に対応できる知恵や力が学校教育で備えられたら~「自分で考え、何とかする」プログラムは「人生をいかに楽しく過ごせるか」に繋がるプログラムと改めて知らされました。

「社会でよりよく生きられるために、」その目的のために学校教育があるのだとすると①暗記に大きなポイントを置いた各期のテストは必要?②評価の対象となるためのノート提出は?③ただこなすだけの宿題?④多様化している生徒たちへ最善の手立てを学年全体で考えていく=固定担任制の廃止につながるなど~制度や仕組みは時代と共に変えていく必要があるのかもしれませんが、現代社会では特定分野の技能を磨け続ける事がその人の可能性を広げることに繋がるのです。ちょっと変な言い方かもしれませんが、自分の進路は狭めて行けば行くほど、その後の進路は広がると思います。と工藤校長は言っていました。「こだわりの強い事」は決して(-)ではなく、突き詰めていく事でその先には「壮大な景色が広がる」と本人は知り、周りも応援していく時代なのかもしれません。

機会がありましたら是非、読んでみてください。あれから約45年が過ぎました、私は翹町中学校の卒業生(T.Imo)